

かけはし

(題字・佐々木英明氏)

第 35 号

発行日：令和3年12月25日
発行元：陽東地区まちづくり協議会
事務局：陽東地域コミュニティセンター
〒321-0904 宇都宮市陽東2-16-36
TEL / FAX 028(662)6269
E-mail : yoto_com@flower.ucatv.ne.jp

陽東地区の人と人、心と心の「かけはし」に…

“ふつらの日常”へ少しずつ…

晴れの日ようやく 10カ月遅れの成人式

11/14(日) 於 作新学院大学



久々の再会、そして感謝

陽東中学校区成人式実施委員

今井 悠南

成人式という晴れの場で、青春とともに過ごした大切な仲間や恩師と再会できることを楽しみにしていた方はとても多かつたと思います。ですが、私たちの成人式は10カ月も延期を余儀なくされてしまいました。

突然訪れてしまったウイズコロナという「ご時世」に、多くの人は不安や戸惑いを隠せなかったことと思います。いつも以上の健康管理、外出自粛、密閉・密集・密接の三密を避けるなどの対策の日々を乗り越えて、やっとの思いでようやく成人式を開催することができました。その陰には実施委員の方々の頑張りがあったからこそだと私は確信しています。皆さんに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

6年ぶりに再会した仲間たちは皆、それぞれの方向へと成長していることを実感することができました。違う土地、生活に触れ、変化がなかった人はいないと言っても過言ではないかもしれません。そして、その変化が良いか、悪いかを決めるのは自分自身です。

ここまで育ててくれた親、恩師、仲間たちに感謝を伝え、私たちはこれからの社会と向き合い、生活をし、更なる成長に努めていきます。

住んでよかった ずっと住みたい このまち 陽東

「お手伝い隊」が“福祉のまちづくり活動表彰”を受賞しました



*市役所1階市民ホールで活動の状況がパネル展示されました。



「お手伝い隊」の活動について
陽東地区社会福祉協議会長 柴田 正仁
陽東地区のひとり暮らし高齢者に対する支援活動を実施している「お手伝い隊」(代表 金子一彦さん)が、今年度の「宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり活動表彰」を受賞しました。

お手伝い隊は、平成27年より、ひとり暮らしの高齢者の要望に応じて、資源物の回収、買い物同行、電球交換や草刈りなど、日常生活の補助を行うとともに、話し相手や相談などの対応にも応じており、地域の高齢者の社会参加や生きがいづくりに寄与しています。

地区の社会福祉協議会、自治会や民生委員などと連携して活動の中で、年々参加人数も増え、現在は12名で活動しています。また、社会福祉施設「豊幸の郷」の職員の方々の協力も得て、活動が広がっています。少子高齢化の進展により、ひとり暮らし高齢者はますます増えていくと予想されています。今後ともより多くの有志の方々への参加による活動を期待しています。

ようとうマルシェが開催されました 11/7(日) 於 コミセン前



マルシェで地域の交流
はなの会 会長 関澤 美智子
コミュニティセンター前駐車場で、「ようとうマルシェ」を開催し、コロナ対策に気をつけながら、ひさしぶりに地域の人たちとの交流を図りました。

販売品の一つとするため、事前に畑でサツマイモ掘りをしました。大きなイモにびっくりしながら、会のみんで袋詰めをして準備が完了しました。「晴れるといいんだけど」「どのくらいの人に来てくれるかな」などちょっぴり心配する声もありましたが、当日は曇りつつない青空。最高の天気の下、コロナ禍でしばらく途絶えていた地域の方々との交流ができる楽しさでワクワクしながら開店を迎えました。

10時の開店とともに多くの人たちが来てくれ、「こんにちは」「元気だったの」と声をかけ合いながら、皆様から寄せられたバザー用品や心のこもった手作り作品、丹精こめて作られた野菜などを販売し、たくさん購入していただきました。

コロナで委縮していた気持ちも晴れ、楽しく無事にマルシェを開催できたことは、地域の皆様のあたたかいお気持ちとご協力のおかげと会員一同心から感謝申し上げます。木当りありがとうございました。

2年ぶりのウィンターカーニバル 12/12(日) 於 陽東小学校



豆投げ



豆移動

今年にはチャレランデカーニバル
陽東地区青少年育成会長 北村 里美
夏祭りや体育祭など大きなイベントが中止になるなか、ウィンターカーニバルの開催も難しいのではないかと覚悟していましたが、コロナ感染の流行が落ち着いてきましたので、内容を変更して開催することにしました。

例年一番人気の白と絆を使った本格的な餅つきなどの催しは残念ながら自粛せざるを得ませんでしたが、チャレンジランキング(チャレラン)として、輪投げや豆移動などのゲームや「陽東小クイズ」で記録に挑戦してもらい、子どもたちはとても楽しそうでした。

地域の皆さまの「顔なじみ」を増やし、異世代間交流を図って、地域全体で子どもたちを育てる機運を高めていくことがカーニバルの目的です。朝早くから参加していただいた皆さま、ありがとうございました。

来年は餅つきができますように！

敬老会で記念品を贈呈しました 9/19(日)

百寿おめでとうございます



片桐クニエさん(南中久保自治会)



福田道子さん(松ヶ丘自治会)



さくら台自治会の会場



陽東小学校体育館

式典と演芸は今年も中止
陽東地区社会福祉協議会
9月19日(日)、敬老会を開催しました。75歳以上の今年の敬老会対象者は昨年より約50名増えて1,293名となりましたが、緊急事態宣言期間中であったため、昨年に続いて一堂に会しての式典と演芸会を実施することはできませんでした。

会場を陽東小学校体育館と自治会の公民館等に分けて記念品をお渡ししました。各会場では「演芸がなくて寂しい」という声が寄せられたそうです。来年こそは通常の敬老会が開催できることを願っています。

しましたが、今年百寿を迎えたお二人、松ヶ丘自治会の福田道子さんは陽東小体育館に、南中久保自治会の片桐クニエさんは自治会の公民館にお越しただいだいて元気なお顔を見せていただき、知事と市長からのお祝いの祝詞を直接お渡しすることができました。

長年の地域活動が表彰されました



金子一彦さん

栃木県共同募金会長表彰

長年の募金活動の功績により表彰されました。(前陽東地区社会福祉協議会長)



ベルコート自治会

宇都宮市自治会活動表彰

定期的なイベント開催や独自の防災訓練の実施など、大規模集合住宅単独の自治会としてのモデル的な活動により表彰されました。



岡田孝司さん

宇都宮市地域自治振興功労者表彰

長年の自治会活動の功績により表彰されました。(中央久保自治会会長)



ふたば自治会

宇都宮市清掃事業協力者特別感謝状

ごみの減量化・資源化及び環境美化推進への長年の貢献に対し感謝状が贈られました。



渡邊忠さん

宇都宮市清掃事業協力者感謝状

ごみの減量化・資源化及び環境美化推進への長年の貢献に対し感謝状が贈られました。(南中久保自治会リサイクル推進員)



陽東地区まちづくり協議会

宇都宮保護観察所長感謝状

社会を明るくする運動への各自治会の長年の貢献(募金)に対し感謝状が贈られました。

◆地域代表意見

陽東地区の課題等について地域の皆さんが市長と意見交換を行う「まちづくり懇談会」は、陽東小体育館を会場に8月24日（火）に開催予定でしたが、新型コロナウイルス緊急宣言のためやむなく中止となりました。



〈陽東地区まちづくり協議会事務局〉

【LRT整備事業と住民の生活交通確保対策について】

陽 LRTの開業時期と停留場に設置される駐輪場の具体的な計画は？
市 令和5年3月の開業を目指し、着実に工事を進めて参ります。
要答 設置する2箇所の駐輪場の場所や規模は検討中であり、まとまり次第お示しします。

陽 御団地循環線バスの日中時間の運行再開を市から働きかけてほしい。
市 利用者が少ないのが減便の理由であり、再開は難しいとのことですが、利用者の減少はコロナ禍の影響もあるため、感乗の収束に応じて改めて事業者へ働きかけてほしい。

陽 LRT開業に伴うバス路線の再編計画を早急に明らかにされたい。
市 バス事業者とLRTとの乗り継ぎ等を踏まえた運行頻度やダイヤの最終的な調整を行っています。
要答 バス路線の再編は住民の大きな関心事であり、計画がまとまり次第、住民説明会等を実施してほしい。

陽 LRT開業に伴うバス路線の再編計画を早急に明らかにされたい。
市 バス事業者とLRTとの乗り継ぎ等を踏まえた運行頻度やダイヤの最終的な調整を行っています。
要答 バス路線の再編は住民の大きな関心事であり、計画がまとまり次第、住民説明会等を実施してほしい。

陽 市が進めている「地域内交通」は、連合自治会単位で実施されているが、運行のエリアを住民の生活圏に即してより柔軟に設定するなど、見直しが必要ではないか？
市 他地区との連携による運行について、陽東地区から具体的な意向が示された場合には、関係地区の意見を伺いながら検討を進めます。

要答 地域内交通事業には、運行エリアだけでなく、運行経費の一部を自治会等地域が負担する点等にも問題があります。より導入しやすい事業になるよう再検討を要望します。

【防災対策の強化について】

陽 一昨年の台風19号災害時の反省点を踏まえ、市の避難情報発令の在り方を見直すべきではないか？
市 住民の避難が適切に行われるよう、避難情報は具体的な町名を指定して発令するよう見直しました。

陽 避難所における感染対策をより充実させるべきではないか？
市 避難所の間仕切りとして、ワンタッチ式のパーテーションを新たに900基備えました。

陽 大型商業施設を避難所として利用

あり困っている。市道認定（移管）の要件を緩和し、市道に認定して市で舗装していただきたい。
市 現在の認定要件は、公共の道路として市民の安全な通行を確保するために設けているものです。

できるような協定を結んでいる例が他市にあるが宇都宮市の状況は？
市 ベルモールも含め約150の事業所を「防災協力事業所」に登録し、そのリストを公表しています。
要答 リストを公表するだけでなく、協力事業所における災害時の避難場所の具体的な運用等について、地域の自主防災会等との連携が図れるよう、事業所への働きかけを要望します。

【高齢者に対する生活サポート活動の担い手確保について】

陽 本地区では有志が「お手伝い隊」として高齢者の生活サポート活動を実施している。こうした活動の担い手確保が重要だが、市はどのように施策の充実を図るのか？
市 担い手の募集・育成に関する研修会の企画や、まちづくり活動応援事業「の活用例の情報提供等を行うほか、第2陣協議体に市職員も参加しながら支援して参ります。

◆自由討議

【陽東地区の将来像について】

陽 市の立地適正化計画では、陽東の

なお、「土地所有者の合意」や「区域が明確になっている」等の要件を満たす私道については、要望により舗装整備を行っていますので御相談下さい。

陽 LRT停留場周辺エリアが「都市機能誘導区域」に指定されている。今後どのような施設を誘導・集積しようと考えているのか？
市 日常生活に必要な施設である高齢者支援施設等の立地誘導とともに、既存施設の維持に取り組んで参ります。また、教育・学習支援や情報通信業などのオフィスを新たに立地する企業の誘導にも取り組んで参ります。

【陽東3丁目交差点の安全対策について】

陽 LRTの軌道敷設により横断歩道



がさらに広がることになるが、児童や高齢者の横断の安全対策をどのように講じるのか？
市 歩行者用信号機の青の点灯時間を現在よりも延長するよう交通管理者と詳細な検討をしています。また、横断歩道手前歩行者が滞留できる空間を現在よりも広く確保して参ります。
要答 交差点にはガードレールが3カ所設置されているが、北西の角にはない。早期の設置を要望する。

陽 現在、年2箇所のペースで老朽化した桜の植え替えと植樹機のコンクリートブロックの撤去が実施されているがまだ未実施箇所が多い。樹勢の衰えの状況に応じてさらに促進を図りたい。
市 街並み景観に配慮しつつ、樹勢の状況等を踏まえ、地域と意見交換しながら柔軟に対応できるように取り組んで参ります。

問題箇所でも多かったのは例年同様、路面の補修や標示に関するものでした。
 青少年育成会と防犯ネットワーク、まちづくり協議会の代表で11月10日に市役所と東警察署へ改善依頼書を提出し、善処を要望しました。

【私道の市道認定（移管）要件の緩和について】

陽 未舗装で雨水の排水が悪い私道が

安心・安全、暮らしやすい陽東のまちづくりのために



右側部にミラー増設を要望



路面の補修を要望

停留場の壁面デザインを検討中です

令和5年3月の開業を目指してLRTの整備工事が急ピッチで進められています。11月からはレールを敷設するための工事も始まりま

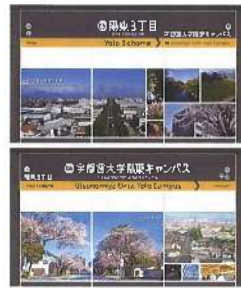
た。
前号(第34号)でお知らせしたとおり、陽東地区には「陽東3丁目」と「宇都宮大学陽東キャンパス」の二つの停留場ができません。停留場には縦12m、横3.4mのガラスの壁面が設置され、市ではその壁面に「自然景観、歴史、文化、スポーツ、食産業など、地域ならではの特色」をデザインすることとしています。



ワークショップの様子

日と12月16日の2回、コミュニティセンターで開催されました。陽東地区からは、かけはし編集委員・まちづくり協議会事務局・停留場予定地近辺の居住者の10名が参加し、市側からは県デザイン協会のデザイナーやLRT車両等のトータルデザインを行っているデザイングループなどの十数名と協議を進めました。

二つの停留場が近接していることもあって、地域の特色をどのように使い分けるのか悩ましい点もありましたが、検討の結果、陽東3丁目停留場は産業通りや平出工業団地など「産業と自然」をテーマに、陽東キャンパス停留場は陽東さくら通り周辺の文教施設や景観など、桜がつつつたまち」をテーマにデザインを作成することになりました。デザイナー案の完成(確定)は令和4年の秋頃になるそうです。どんな仕上がりになるのか楽しみです。



検討案のイメージ(今後一部変更予定)

まち協主催講座を
開催しました

コロナ禍のため例年実施していた「いき粋セミナー」は今年も中止せざるを得ませんでした。概ね20名限定の形で、まちづくり協議会主催講座をコミュニティセンターで2回開催しました。

栃木の地名～先人が遺した「危険な地名」を探る～ 10/20(水)



県考古学会の顧問を務める橋本夫さんを招いて、「栃木の地名」と題して講演をしていただきました。橋本さんは芳賀町出身で、長く考古学研究にあたり、平成12年には県の文化功賞を受賞されています。地名の研究は専門外というところですが、危険な地域や箇所「災害地名」に興味を持ち、考古学研究のかたわら県内の様々な地名を調査されてきたそうです。

例えば、一昨年の台風19号でJR宇都宮駅西側の田川が氾濫しましたが、宮の橋の下流にある「押切橋」の「押切」には濁流が堤防を押し切る」という意味が込められているそうです。また、「板戸」「置板」という地名があります。「板」は「イタむ(傷む)」の意味、「原」「原」は「谷地(やち)」の略で、どちらも低湿地で水害が多かった地域だったそうです。陽東地区には「久保」という地名がありますが、「クボ」は「窪」から来ていて、周囲よりも少し低い場所という意味があるのではないかとのことでした。確かに大雨が降ると3丁目交差点近くの鬼怒通りが氾濫するのは地盤が低いからです。

橋本さんは約2時間休憩なしで話を続けられました。そして会場が一段とよめいたのは「私はもうすぐ卒寿(90歳)です」と笑顔で講演を終えた時でした。かくしゃくとした姿はまさに「人生100年時代のお手本」を見る思いがしました。

さわやかにスポーツの秋 コロナ対策にも気をつけて 11月

陽東小運動会

11月13日(土)、陽東小学校の運動会が開催されました。昨年は無観客の「スポーツ大会」だったので、2年ぶりの運動会開催となりました。感染症対策のため、保護者の参観はできません。さらに前半後半で下学年と上学年の保護者を入れ替えるなど、人数や時間に制限を設けた形での開催となりましたが、抜けるような青空の下、子どもたちは元気にグラウンドに躍動し、保護者の皆さんもとて嬉し、カメラを向けていました。



応援合戦



南中ソーラン踊り



TSUNAHIKI

ベタンク大会

11月16日(火)、陽東老人クラブ連合会主催第41回ベタンク大会が、ちとせ児童公園で開催されました。日頃の練習で培った熟練のプレーで大いに盛り上がりま



オラ(HoLa)! ～国際理解講座“スペイン”～ 11/20(土)

スペイン出身の江名ロサさんを講師に招いて開催した国際理解講座は、スペイン語のこんにちには、「オラー」のあいさつで始まりました。国際理解講座は、宇都宮市が「多文化共生」の推進を目的に行っている事業で、市内で暮らす外国人が講師となって母国の文化を紹介する講座です。

ロサさんはサグラダファミリアでも有名なバルセロナ市生まれで、7年前から日本人の夫と二人の男の子の4人家族で市内で暮らしています。ロサさん自身の母親も大阪出身だそうです。高校卒業後に1年間日本に留学して勉強したこともあって、とても聞きやすい日本語でスペインの魅力が分かりやすく話してくれました。

お話の内容は、スペインの言語、宗教、国民性、食、祭りなど、とても幅広いものでしたが、子どもの夏休みが3カ月ものあること、大人もみな1カ月の休暇をしっかりとって海へバカンスに出かけるのを楽しみに一年を過ごしていることなど、日本人との「人生観」の違いについても驚かされました。

プロジェクトを使って映し出されたパエリアや生ハム、オムレツ、アヒージョなどのおいしそうな映像にお腹の虫が鳴き始めた頃、最後にロサさんによるフラメンコの実演があり、そして参加者全員でフラメンコの手の腕の動きのレッスンを体験しました。ロサさんは「とても上手です」と言ってくれましたが、ほとんどの方の動きはまるで阿波踊りのようになっていました。これも文化の違いですね。



今年度は各自治会で実施!

婦人防火クラブ会長

尾島 高子

例年、『秋の火災予防運動』の期間にあわせて実施してまいりました陽東地区の夜回り巡回ですが、今年も昨年引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を考え、残念ながら地域全体としての実施は中止としました。しかし、過日、近隣地区で放火事件が発生したこともあり、各自治会に協力をお願いし、日時・人数



陽東桜が丘自治会の夜回り巡回

もそれぞれの自治会に一任して実施していただきました。防犯ネットワークから「拍子木」等の貸し出しも受けて、各自治会に積極的に実施していただきました。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございます。次回は是非、地域全体で皆さんと一緒に実施できることを心から願っています。これからの寒い時期、火の元には充分注意して過ごしてください。



拍子木の音が知らせる“防犯・防火”

HUG(ハグ) シミュレーション 12/5(日) 於 コミュニティセンター

HUGシミュレーションによる避難所運営訓練を実施して

陽東地区自主防災

会長 竹内 律

12月5日(日)、防災部会では、栃木県防災士会にご協力いただき、2年ぶりにHUG(ハグ)シミュレーションを実施しました。陽東各地区からの参加者と陽東キャンパスの宇大生など、総勢43名の皆さんのご参加をいただきました。

近年、大規模地震や異常気象による自然災害による甚大な被害の発生が懸念されるなか、こうした災害が発生した場合に、地域住民の生命と必要最低限の生活を守るため、地域の防災対応力が重要なカギとなっております。HUGシミュレーションは、災害の



発生の際の恐れがあるとき、又は災害が発生した直後に、避難者自らが行う避難所運営の図上訓練で、地域に求められる防災対応力向上のための重要な手法です。

災害が発生した場合、行政からの支援職員や自主防災会などの地区の避難所運営スタッフの到着が遅れ、避難所が混乱することも予想され、避難者自らによる応急的な避難所運営が求められます。

避難者自らが、障がい者や高齢者などの避難者を迅速に休憩場所に案内することや発熱など体調異常者と健常者の休憩場所を分けるなど、より実践的な訓練を継続して行うことにより、地域の防災力を高めていきたいと思っております。



「防災ラジオ」
購入補助制度
について



宇都宮市では、災害時の緊急放送を自動的に流してくれる『防災ラジオ』の購入補助制度を実施しています。対象になると市価の約1/4の3,600円で購入できます。市役所へ提出する申請書はコミセン窓口にあります。